

ヒルフェ通信(12月号)

❖ そっと寄り添いやさしくサポート ❖

「公益社団法人成年後見支援センター
ヒルフェ」は高齢者、精神障がい者、知的
障がい者等の権利の擁護及び福祉の
増進に寄与することを目的として、東京都
行政書士会が設立した法人です。



◆東京都市長会会長加藤福生市長訪問報告

令和7年10月30日(木)に、齊藤理事長、佐々木副理事長、大津常任理事(地区・ブロック活動担当)、ヒルフェ多摩西部地区堀内地区リーダー、東京都行政書士会多摩西部支部の青山支部長、同神谷副支部長の6名で、福生市役所を訪問し、東京都市長会会長加藤育男市長に面会してまいりました。

面会に先立ち、同席された田村福祉保健部長、峯尾社会福祉課長と福生市の成年後見制度の現状について意見交換をさせていただいた後に、加藤市長が入室され、齊藤理事長から訪問の趣旨を、佐々木副理事長から資料に基づき事業概要について説明させていただきました。また、12月13日(土)に瑞穂町で開催予定の「寸劇で楽しく学ぶ成年後見制度の入門講座～花子さんのみちるべ～」について紹介させていただき、福生市での開催について要望させていただきました。

最後に、青山支部長から、支部の区域内にある各市の中で最後の対応となる行政書士法遵守プレート(非行政書士排除プレート)の窓口設置について要望させていただき、加藤市長から即決でご了解いただきました。

面会は和やかな雰囲気の中内容のある有意義な訪問となりました。
(地区・ブロック活動担当常任理事 大津敏久)



◆ヒルフェ主催の新宿地区成年後見市民セミナーが開催されました

令和7年11月15日(土)四谷保健センターにおきまして、公益社団法人成年後見支援センターヒルフェ主催の無料市民セミナー「老後を自分らしく生きるために！～遺言書とともに成年後見制度で守る暮らしの安心～」が開催されました。

初めに、菅野有里子副理事長より開会のご挨拶、続いて新宿支部河野正樹支部長のご挨拶並びに新宿地区の活動についてご紹介があり、本セミナーは開会となりました。

セミナーは2部制で構成され、第1部は新宿地区会員により、成年後見制度をテーマとした寸劇「認知症かも!？」が上演されました。オリジナル脚本による喜劇調な内容で、時折参加者から笑いも溢れ、続く本題への良い導入となりました。

第2部では「終活お役立ちミナー」と題し、下記3つのテーマについて講演が行われました。

1 『遺言について』では、池田玲子会員が講師となり、遺言の種類についてそれぞれのメリット・デメリット、遺言作成のルール、本年10月に運用が開始されたオンラインによる公正証書作成にも触れ、実務上の注意点などを解説しました。

2 『クイズで知ろう後見制度』では、新宿地区の荻原貴子理事が任意後見・法定後見制度について解説し、参加者の方が挙手でクイズに答えながら理解を深めているのが印象的でした。クイズの正答率も高く、後見制度に対する意識の高さが伺えました。

3 高山久美子常任理事より『みちるべ』を使ったエンディングノートの紹介があり、内容と注意点到れ、早めの準備をと参加者に呼びかけました。

最後に、菅原次郎新宿地区リーダーよりヒルフェ新宿地区メンバーの紹介があり、続いて河野正樹支部長並びに新宿区議会議員の大門さちえ議員から締めくくりのご挨拶をいただいた後、セミナーは閉会となりました。セミナー終了後には、今後相談したいと声をかけてくださる参加者もあり、顔を合わせて話せる機会の大切さを実感し、今後も定期的な取り組みを継続していくことが不可欠であると認識したセミナーとなりました。(広報担当 佐々木直美)

